

栗野ゼミ 資料

-- 2023 年度 栗野ゼミ 概要 --

栗野 俊一

講義内容の静止画・動画での撮影、及び SNS 等への転載を固く
禁じます

2022/12/03 栗野ゼミ 資料

はじめに

□この資料の位置づけ

○この資料は 2023 年度栗野ゼミを希望する人の参考になるように作成したものです。

□資料の概要

○ゼミの方針

○ゼミで学ぶ内容

○ゼミで身に付く技能

○ゼミの当初予定

○ゼミ希望者に望む事

ゼミの方針

□ゼミの方針

- 正直、あまり決っていません

 - ▶ 栗野が経済部でゼミを持つのは 2023 年度が初めてなので、試行錯誤になると思っています

- 基本は、ゼミの皆さんと相談しながらやりたいとおもいます。

 - ▶ ゼミの実施曜日／時間／場所／形式

□理工学部でのゼミ形式

- 2021 年度までは、理工学部の数学科でゼミをもっていました

- その時の形式は、基本、学生の発表形式でした

 - ▶ 学生には、それぞれ研究テーマが与えられる

 - ▶ 輪番で自分のテーマに関して発表をする

 - ▶ 発表に対して、質疑応答を行う

- 特に、参加する皆さんの希望がなければ、理工での方式になる可能性が高いです

ゼミで学ぶ内容

□ 来年度のゼミのテーマは、次のものを考えています

○ 深層学習を用いて実現されるサービスの提供

- ▶ 深層学習を用いたサービスを考える
- ▶ 深層学習を用いたサービスを実現する
- ▶ 深層学習を用いたサービスをネットワーク上に公開してサービスする
- ▶ 利用者からのフィードバックを受けて、サービス内容を再検討する

□ テーマのポイント

○ 深層学習を用います

- ▶ サービスの内容はなんでもかまいませんが、手法としては深層学習を用いるという事です

○ サービスを実装します

- ▶ サービスを考えるだけでもよいのですが、しかし、その実現を目指します
- ▶ サービスを実現するためには、プログラミング等も学ぶ必要があります

○ サービスを公開します

- ▶ 実現しサービスは、実際にインターネットに公開します
- ▶ 公開したサービスは、当然、一般的な第三者に利用される事を想定します

□ テーマから得られる事

- アイデア出しから、その実装、公開まで、サービスの実装を一通りできるようにします

ゼミで身に付く技能

□ゼミで身に付く技能

- ゼミでは実践を重視します

- ▶単なる知識の修得だけでなく、実際に動くものを作る技術を学びます

□知識

- 深層学習/サーバ管理知識/ネットワーク管理知識

□技能

- Python プログラミング / サーバ管理方法/ネットワーク管理方法

□一人で、サービスを実現する能力の取得を目指します

ゼミの当初予定

□ゼミの当初予定

○まずは、すべて零から作る事になります

▶初年度は、色々な話題の講習会(栗野が講師)や、実習を行う事になります

▶サービスをするシステム作りを、実際に作りながら、一緒に学ぶ事になります

○サービスのアイデア出し／検討をディスカッションします

▶どんなサービスがよいか、その実現性はどうか等を、ディスカッション形式で決めてゆきたいと思います

ゼミ希望者に望む事

□ゼミ希望者に望む事

○まずは「やる気」です

- ▶ 困難にぶちあたっても諦めずに、前に進む気概を期待します
- ▶ 情報関係は、結局、どれだけ「手を動かすか」なので、ダメもとで、色々試す能力が必要です

○前提とする専門知識(AI/PC/Netwrok/Programing/数学/etc..) は、仮定しません

- ▶ 必要な知識は、必要な時に入手すればよいと思います。
- ▶ ゼミに参加する上で不可欠な知識や技能は、ゼミ内の講習会を実施して補います

○論理的思考能力が求められます

- ▶ 新しい概念を取り入れたり、システムを構築したり、議論するために、強く求められます
- ▶ 数学の知識は問いませんが、数学が嫌いだと困ります

□ゼミ学生の選抜

- あまり多くの希望があった場合は、検討しますが、現在は考えていません

おしまい

栗野ゼミ

おしまい

講義内容の静止画・動画での撮影、及び SNS 等への転載を固く禁じます